

自己実現への道

第20回 - 運命を変える秘訣(その10)

- 人生で成功する秘訣 『失敗のパターン』をぶち破る知恵！ -

太古の昔から「イメージング」は存在した！

イメージングの歴史は古く、ミラミッドが建てられるよりもはるか以前から行われていた。アルタミラの洞窟にみられるように、2万年も前の原始時代の人々は洞窟の壁に狩猟の絵を描き、首尾良く狩りができるように、イメージを強めたと言われている。現代においてもその日の糧を獲得できるというイメージを強く持ち、自分の能力を信じて生きて行くのが人間の姿なのであろう。

成功を勝ち取るためのイメージングの役割

人生のあらゆる面で成功する人々は、意識するしないにかかわらず、常にイメージングしている。これは確かだ。『成功』を勝ち取るためにイメージングがどのような役割を果たすのか、考えてみよう。まず重要なのは目標設定においてである。何らかの努力を成功に結びつけたいとき、第一にしなければならないことは、『**目標を設定**』し、『**それを明確に思い描き**』、『**達成の期日を決める**』ことである。

ひとりの若者が先生のところへアドバイスを求めてやってきて言った。

「生きているからには、何か成し遂げたいのです。何かやってみたいのです。」と。

「それはいいね。君は何をやりたいのかね？」

「それはわからないのですが、ただ何かやりがいのあることがしたいのです」

「いつ頃その目標を達成したいの？」

「そりゃまあ、早ければ早いほどいいのですが・・・」

「君は『何かやりたい』と言ったね。その『何か』がわからないうちは、決して何事も成就しないよ。特定の明確な目標をしっかりと心に焼き付けなければダメだよ。はっきり見える目標をね。それだけじゃない。その目標をいつ達成するか、その期日も、決める必要がある。『そのうちいつか・・・』なんて漠然としたものではダメだ。ちゃんとした期日（deadline）を設けなければならない。そして、一度決めたら、きちんと守り通す自分を想像することだ」

「はい」

『そのうちいつか』は永遠にやってこない！

「それじゃ、家に帰って自分のしたいことを書いてみなさい。目標というのは、書かないうちはただの願い事に過ぎない。書いてみて初めて焦点の定まった目標になる。紙に書いてみなさい。簡潔に書くことだ。何をしたいか、いつ始めるか、そしていつ目標を達成するか・・・この3つだ。」

人生の最大目標を一つの文に書け！

「曖昧なところのないように、全て明確に、はっきりと書くことだ。何か条件をつけたり、手加減した内容ではダメだ。力強く簡潔に、自分の意志を表明する文相を書きなさい。そしてそのコピーを私のところに送って来なさい。君の人生を変えることこそが目的なのだからね」

「え、僕の人生を？」

「君を彷徨う空想家から、自信を持って目標を定められる有能な人間に変えるのさ。コピーを6枚取って、1日に3回は目を向ける場所に貼り付けておきなさい。君の意識にも無意識にも刻みつけて、絶えず祈り、必死で努力すれば、目標は必ず達成できるだろう。」

「わかりました、やってみます」

そして彼は実行した。彼はすでに、自分の思い描いた方向へ、意識のある前進を始めたのだ。

<MIKO>

☞ 参考文献：人間向上の知恵 ノーマンピール（謝世輝訳）三笠書房